

出穂後の高温で生育が早まる予想！

刈取時期の目安は、7月中に出穂した圃場では9月4日～

◎高温登熟年の特徴

玄米の肥大が急激に進み、胴割粒や白未熟粒が生じやすい。成熟期が前進するため、刈り遅れ症状が発生しやすく、薄茶米の発生や玄米光沢の低下による品質低下が懸念される。また、登熟期間中の高温によって千粒重が小さくなる。

⇒**刈り遅れは品質低下リスクが大きい！早期刈り取りを徹底！**

1 品種別の出穂期の目安と刈取時期について

刈取時期は出穂後積算気温を目安に、①青糲歩合、②糲水分、③枝梗の黄化具合から総合的に判断します。

| 品種名 | 積算気温 | 刈始めの青糲歩合 | 出穂期(本年) | 刈取時期(目安) |
|---------|------------|----------|---------|----------|
| 雪 若 丸 | 900~1,150℃ | 20% | 7月30日頃 | 9月4日～ |
| は え ぬ き | 900~1,150℃ | 20% | 8月2日頃 | 9月8日～ |
| つ や 姫 | 950~1,150℃ | 15% | 8月9日頃 | 9月18日～ |

積算気温は高畠町糠野目のメッシュ気象等による積算値(8月11日まで本年値、以降は気象庁の予測資料に基づいた予測値、9月9日以降はアメダス高畠平年値)

2 過去の高温年の状況(令和5年の状況)

- 出穂後積算気温でみた刈取適期の目安は、例年より10日程度早まった。
- 糲の黄化は進んだが、枝梗の枯れや糲水分が低下せず、刈り始めの判断が難しかった。
- 出穂後積算気温からみた刈取目安
R5 はえぬき(8月3日出穂): 9月7~17日(900~1,150℃)
- 刈取の進捗状況(西置賜地域)
刈取盛期は暦日で7日早まったが、出穂後積算気温で見ると平年より100℃以上遅れた。

表) 令和5年の刈取進捗状況と平年比較

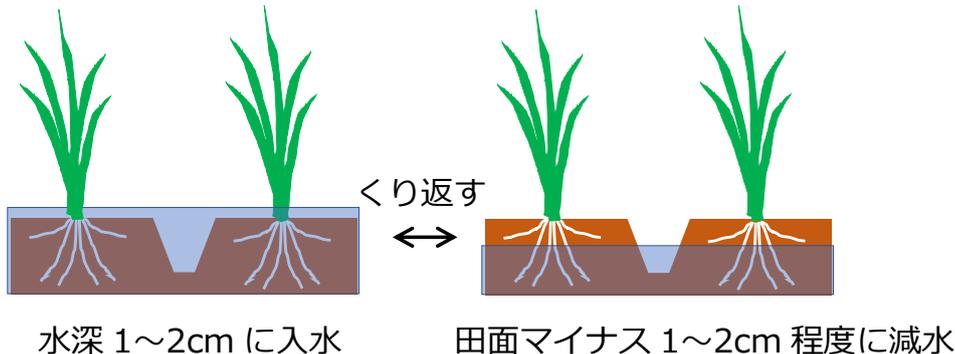
| | 始期 | 盛期 | 終期 |
|----------------------|----------------------|----------------------|--------|
| 令和5年 (出穂盛期: 8月3日) | 9月17日 積算気温 1,234℃ | 9月25日 積算気温 1,379℃ | 10月8日 |
| 平年 (出穂盛期: 8月4日) | 9月20日 積算気温 1,069℃ | 10月2日 積算気温 1,270℃ | 10月13日 |
| 平年差 | -3日 | -7日 | -5日 |

3 令和7年産米の品質向上に向けて

<高温時の水管理>

- ・常時湛水は根の機能を低下させるため、2湛2落の間断かん水や飽水管理を徹底して登熟を高める根圏環境を作りましょう
- ・用水を効率的に利用するには、湛水せずに土壌を常に湿潤に保つ、「飽水管理」が効果的です。土壌に酸素を供給しながら、気化熱でイネ群落内の気温を下げるすることができます。

【飽水管理のイメージ】



<刈取時期の前倒し>

- ・本年は出穂が令和5年よりも早く、8月中の高温も想定されることから、刈取時期を早める対応が必要です。
- ・9月の天候によっては、思うように刈取りに入れないことも想定されるので、刈取始めの時期を逃さないように、8月中旬（お盆）を過ぎたら、乾燥調製施設の準備を始めましょう。

<斑点米カメムシ類多い！> **斑点米カメムシ類注意報発表(8月7日)**

- ・斑点米カメムシ類の発生量が多く、後期加害が多くなるため、補完防除を検討しましょう。
- ・刈取適期が早まるため、農薬の収穫前日数が範囲内になっているかを確認しましょう。
(キラップ剤、トレボン剤は注意！)



！農作業事故・熱中症に注意！
！山形県農薬危害防止運動実施中！

使い慣れている農薬でも、使用する前にその都度必ずラベルを確認し、希釈倍数等の使用基準や使用上の注意事項を遵守しましょう。

